

大空 (生徒・保護者向け) 24号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年11月2日(月)

西校プライド～総務交代式挨拶～

□本日の概要

- 第92期生徒会総務の皆さんは、新型コロナウイルスの感染拡大という試練の中、生徒の皆さんや先生方と協力して、朝陽祭をはじめとした様々なものに一生懸命取り組んでくれた。感謝したい。
- 93期生徒会にも、92期に依頼したスマホ持ち込みルールの検討などを依頼することになる。自分たちのルールを自分たちで主体的に創りあげるという意識を持って欲しい。
- 主体性は責任ある行動につながる。皆の力で、「西校プライド」を確立させてほしい。

□第92期生徒会総務の皆さんへ感謝

第92期生徒会の皆さん、本当にご苦労様でした。休校の影響で、例年より交代が遅れ、6月からのスタートでしたが、新型コロナウイルスの拡大という試練に立ち向かってくれました。印象に残っているのは、実行委員や各団団長、リーダーなどとともに創りあげた朝陽祭です。生徒会長の鈴木さんは、朝陽祭のパンフレットにこう言葉を寄せています。

「鼓動があのだらと響き合えば新たに熱い命が始まる」

ミュージカル「レ・ミゼラブル」の中でパリ市民は政府と戦う時にこう歌います。今年の朝陽祭はコロナウイルスという巨大な敵の影響で準備中にも悔しい思いをたくさんしました。しかし、今こそ周りの友人や仲間たちと思いを一つに響かせて、今年しかできない格別な朝陽祭を目指しましょう！

この言葉通り、皆さんは新型コロナウイルス感染拡大という状況に立ち向かい、全く新しい形の朝陽祭を実行することができました。また、1学期に実施できず、91期生徒会が悔しい思いをした遠足も実施できましたし、他にも、豪雨による被害を受けた地域への募金活動なども実施しています。さらに、

スマホ校内持ち込みに関するルール作りや、校則の見直しについても、先生方や保護者と話し合いを続けており、その検討過程は第93期生徒会の皆さんに引き継がれることと思います。

生徒会の皆さんは、コロナ禍という制約の中、学校行事の企画・運営が順調に進まない場面でも「真面目・素直・一生懸命」に頑張ってくれました。生徒会はどちらかというと裏方的存在で、行事以外の場面では、多くの生徒の皆さんにとって活動がなかなか見えずらい所もあったかもしれませんが、学校をよくしたいと思い、一生懸命に活動しれたことに、感謝したいと思います。お疲れ様でした。

□第93期生徒会総務の期待

新型コロナウイルスの出口はまだ見えない状況です。第93期生徒会の皆さんも、92期同様、大きな試練が続きます。

先ほど述べましたように、生徒会の皆さんには、スマホの校内持ち込みのルール作りや校則の見直し等の検討を依頼しています。スマホに関しては、本県でも、すでに持ち込み可になった学校もありますが、本校が検討に時間をかけているのは、皆さんに、「西校生のルールは自分たちで主体的につくる、そして、そのルールは自分たちで守る」という意識を持って欲しいからです。

□主体性とは

私は、主体性とは「自分の意思に基づき行動する力」であると思っています。同時に、「自分の意思に基づき行動する」ためには、「判断力」が必要であり、その判断には「責任」が伴います。すなわち、主体的に行動するという事は、「自己の言動、判断について責任を取る」ということにつながります。

スマホ持ち込みのルールや、校則などについて改めて考えてもらいたいのは、「自分たちの学校は自分たちで守る、そのために自分たちのつくったルールは自分たちで守る」といういわば「西校プライド」

を創りあげて欲しいからです。誰かに律されるのではなく、自分たちの行動に誇りを持ち、自分たちの判断力を信頼して欲しいと胸を張って言える集団であって欲しいのです。

私は、多くの、いわゆる名門校と言われる学校を訪れたことがあります。その中で、名門校とは、偏差値が高いとか、難関大学合格者が多いとか、校舎や施設が立派であるという意味ではなく、その学校の、その集団だからこそ守ることができる、無形の価値が伝統的に脈々と息づいている学校だということに気付きました。宮崎西高校は令和5年度（2023年度）には創立50周年を迎えます。本校は大学進学等では実績がありますが、精神的にはまだ若い学校です。この機会に、本当の意味で、知性と感性を併せ持つ、真の名門になって欲しいと思います。

以下は、私が、学校経営案に示した宮崎西高校、附属中学校の姿です。

目指す学校像

- 生徒同士が切磋琢磨し、協働しながら、一人一人の未知の力を伸ばす学校
(未知の我を求めて 伸びる学校)
- 自他の生命や人権が大切にされ、安心して高い目標への挑戦や失敗ができる学校
(高い志の醸成と挑戦 生命尊重)
- 一人一人の価値観や多様性を尊重し、日本や世界に貢献する志を育成する学校
(グローバルな視点 多様性尊重)

目指す生徒像

- 誠実に学問に向き合い、自ら問いを立て主体的に探究し、全力で努力する生徒
(誠実 学問への努力)
- 豊かな感性を持ち、他者や様々な価値観を尊重し、自分や他者を全力で応援する生徒
(敬愛 自他の尊重)
- 世界を視野に、新しい価値の創造に挑戦し、全力で試練を乗り越える逞しい心身を持つ生徒
(創造 逞しい心身)

これらは生徒会の皆さんだけで達成することではありません。生徒の一人一人の自覚、変容が必要です。生徒会の皆さんを旗振り役として、全校生徒の皆さんが、主体的な人間となることを期待しています。西校プライドを築き上げていきましょう。

第92期生徒会の皆さんとその活動



第93期生徒会の皆さん

